

# 災害情報基盤整備 ～豊島区の取組～

平成25年7月5日

豊島区政策経営部企画課長 佐藤和彦

# 1 豊島区を紹介

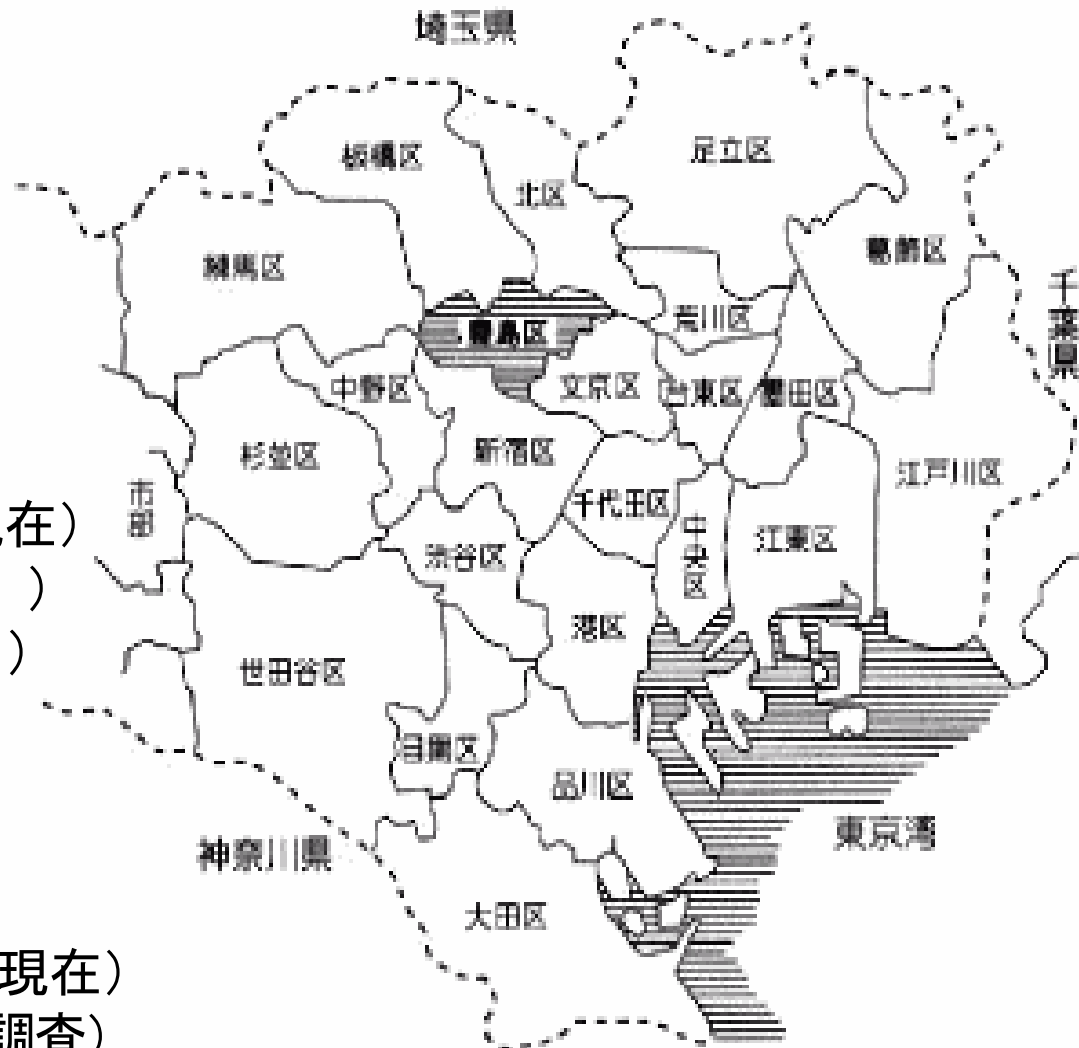
日本一の高密都市

# ●豊島区の概要

- ・面積 13.01km<sup>2</sup>
- ・東西 6,720m
- ・南北 3,660m
- ・標高 8~36m(東京湾の平均水面との比較)

- ・人口 268,959人(2013.1.1現在)
- ・外国人 19,065人( // )
- ・世帯 161,197世帯( // )
- ・人口密度 206.7人/ha

- ・年少人口 22,905人( 8.5%)
- ・老年人口 53,401人(19.9%)  
(2013.1.1現在)
- ・単身世帯 60.9%(2010年国勢調査)



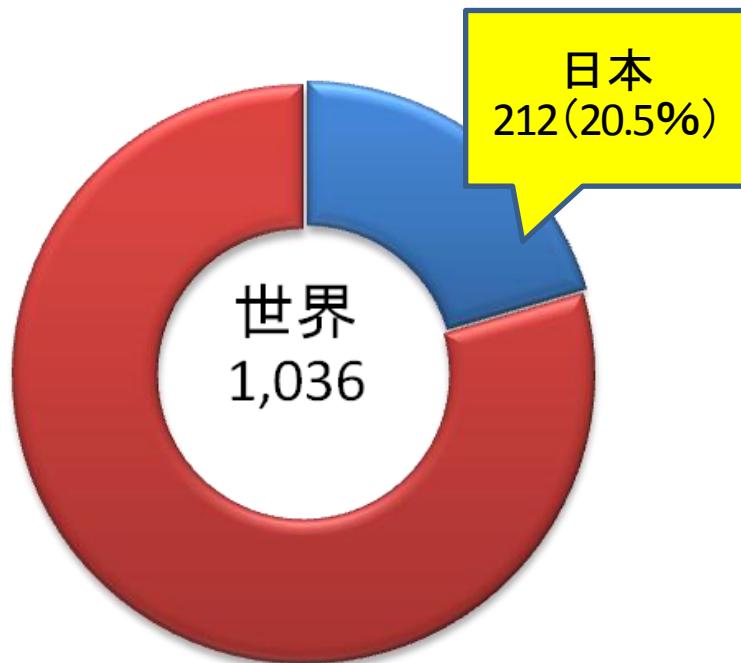
未来へ ひびきあう  
人 まち・としま

文化と品格を誇れる価値あるまち

安全・安心を創造し続けるまち

# ●迫りくる首都直下地震

世界の大地震の2割が  
日本で発生

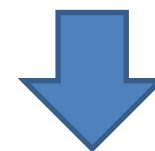


マグニチュード6以上の  
地震発生回数  
(2000年～2009年、平成22年版防災白書)

東京では、首都直下地震  
の発生が迫っている

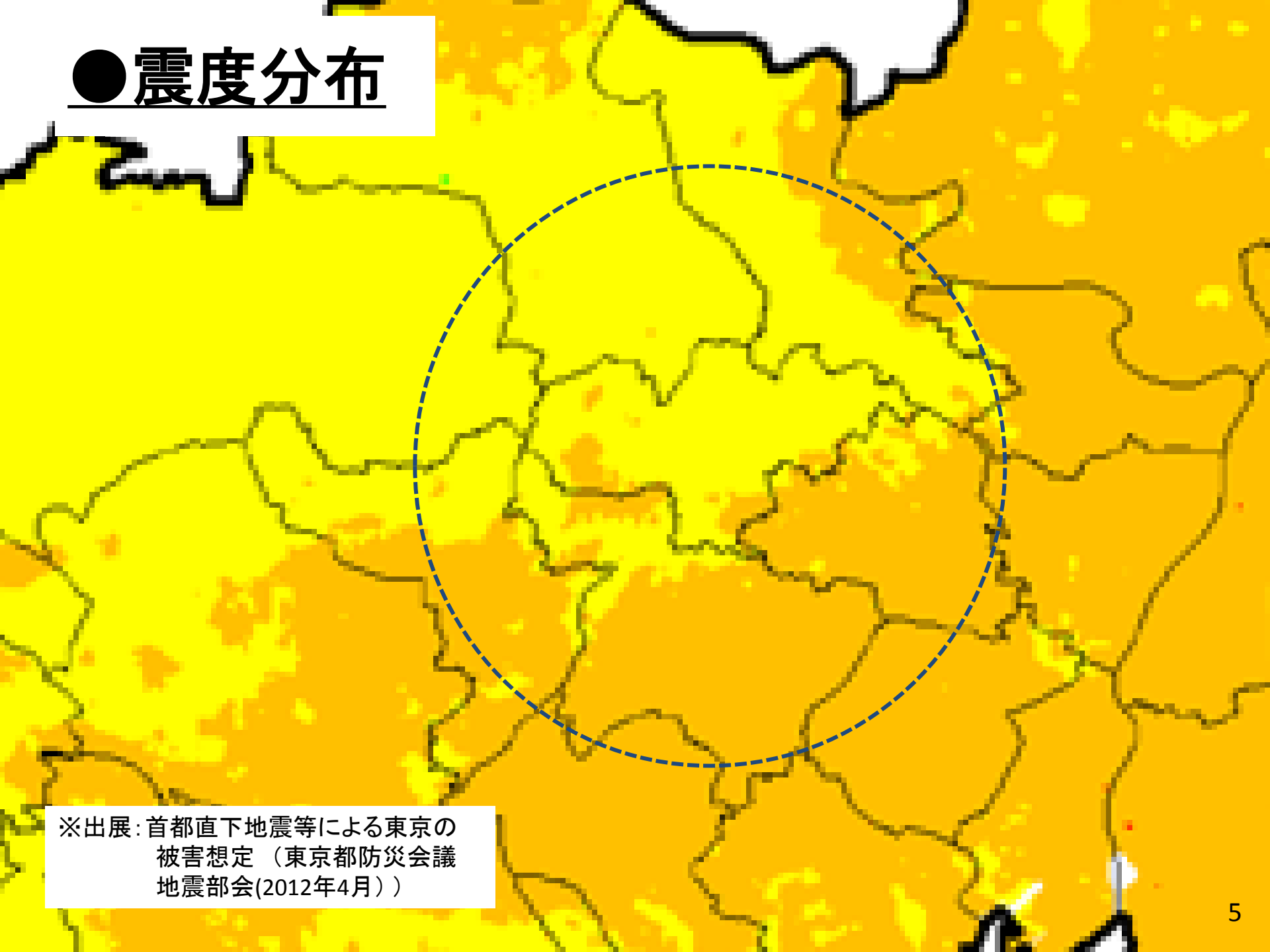
【首都直下地震の発生確率】

- ・今後10年で30%
- ・**今後30年で70%**
- ・今後50年で90%



**「大地震が来る」**  
という覚悟と準備が必要

# ●震度分布



※出展：首都直下地震等による東京の  
被害想定（東京都防災会議  
地震部会(2012年4月)）

# ●首都直下地震の被害想定(豊島区)

[前提: 東京湾北部地震、M7. 3、冬、18:00、風速8m/秒]

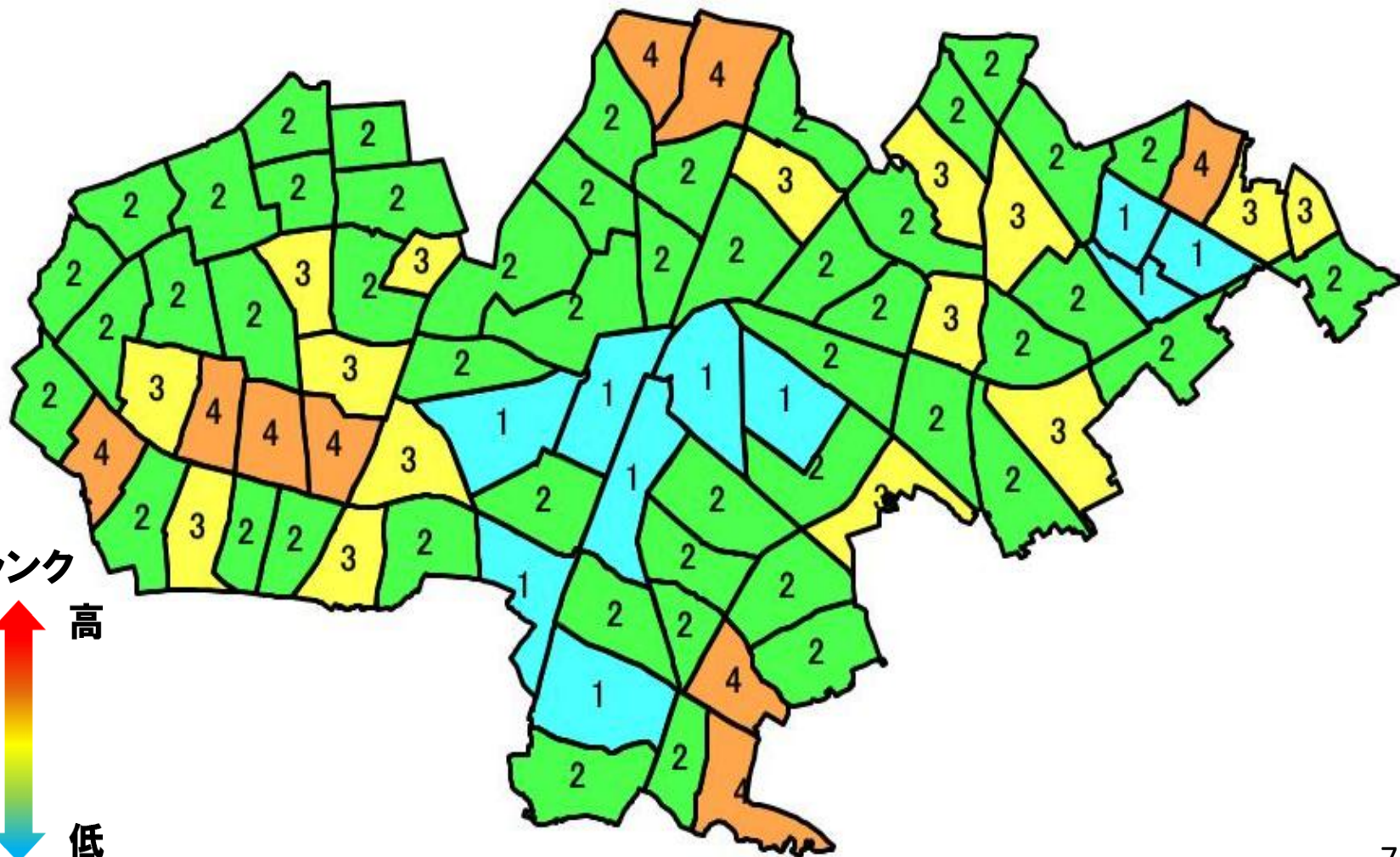
建物被害	全壊	1,679棟
	全焼	1,355棟
人的被害	死者	121人
	負傷者	2,778人
	自力脱出 困難者	770人

ライフ ライン 被害	停電率	10.1%
	ガス停止率	0.2%
	通信不通率	2.4%
	上水断水率	23.9%
その他	下水被害率	24.7%
	避難生活者	34,115人
	池袋駅滞留者	147,734人
	エレベーター 閉じ込め台数	183台

※出展: 首都直下地震等による東京の  
被害想定 (東京都防災会議  
地震部会(2012年4月))

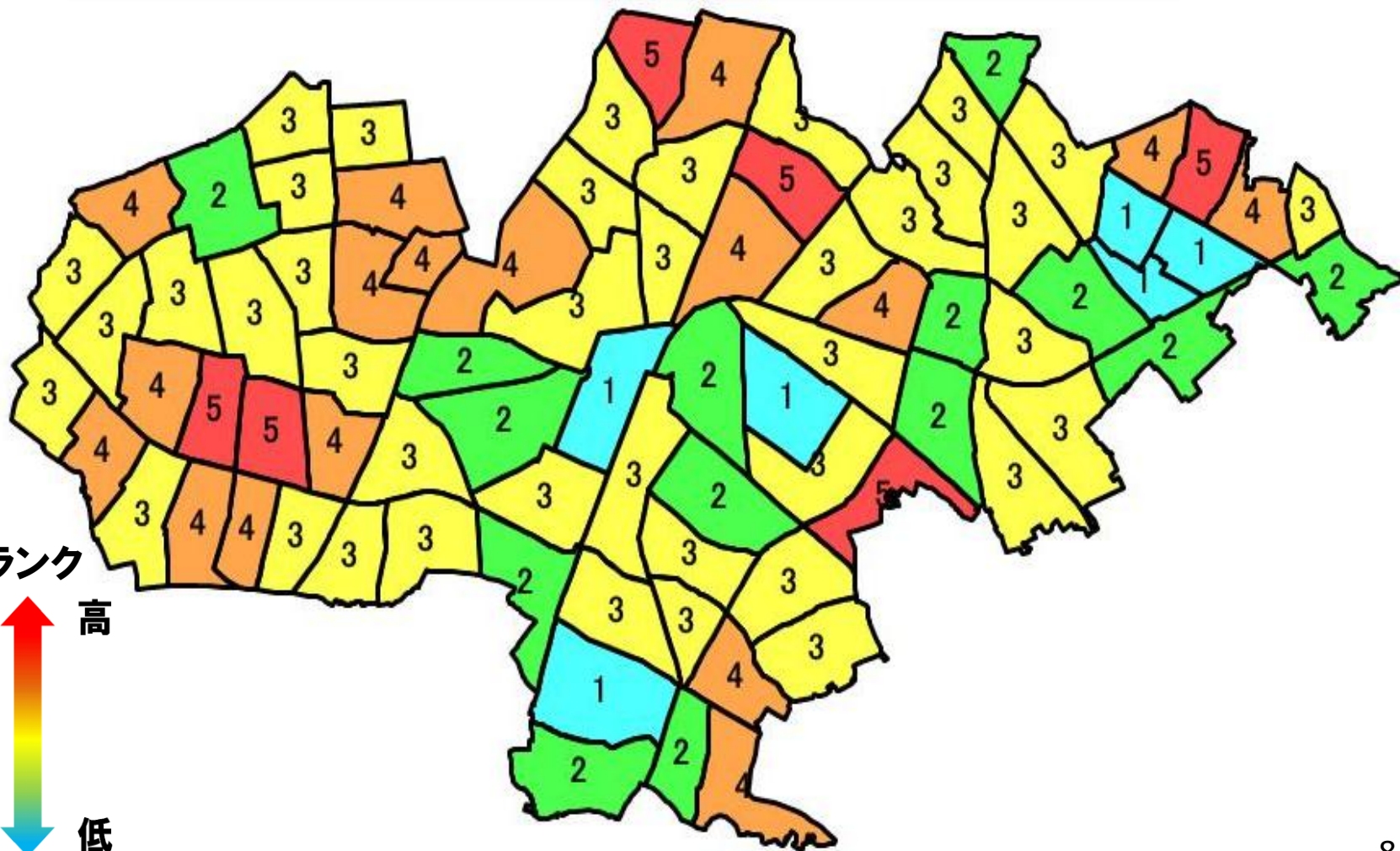
# ●豊島区の地域危険度①

## 建物倒壊危険度MAP（建物倒壊の危険性）



# ●豊島区の地域危険度②

## 火災危険度MAP（出火や延焼の危険性）





# ●豊島区の地域特性と課題

## ○便利で活気あふれるまち

- ・鉄道網の充実(JR、西武、東武、メトロ)  
池袋駅の一日乗降客数 約250万人(平成23年度)

膨大な  
帰宅困難者

- ・人口密度日本一  
206.7人/ha(平成25年1月)

多くの避難者

## ○人・建物が密集した高密都市

- ・細街路、木造住宅密集地域
- ・少子高齢化

住宅倒壊・  
大規模火災

0~14歳	8.5%
15~64歳	71.6%
65歳以上	19.9%

台地で地盤は強いが・・・  
区内の4割が  
木造住宅密集地域

# 2 東日本大震災

豊島区内の様子

## ●豊島区内の被害状況

震度：5弱（23区中8区が5強）

被害：死者・行方不明者なし

全壊・半壊なし

●り災証明 144件（瓦、塀、家具など）

※2012年3月1日現在

火災2件（小火1件、集合住宅1室全焼1件）

幸い、大きな被害は  
なかったが…

★ 1万人を超える**帰宅困難者**が発生

# ●区内の帰宅困難者数

施設	人数
<b>公共施設</b> (区役所、公会堂、芸術劇場ほか)	1,717人
<b>区立小中学校</b> (13か所)	481人
<b>都立高校</b> (4か所)	117人
<b>大学</b> (立教学院、帝京平成大学、学習院)	6,489人
<b>その他民間施設</b> (ホテルメトロポリタン、第一インほか)	1,870人
<b>合計</b>	<b>10,674人</b>

(豊島区調査、2011年5月11日)

# 地震直後、中池袋公園に集まる来街者



# 鉄道が止まり、ごったがえす池袋駅構内



池袋駅地下コンコースに座り込む帰宅困難者

# 鉄道が動かずバスを待つ長い列



## 西口公園 トイレに長い列



## 池袋駅西口 携帯電話が使えず公衆電話に長い列

# 3 情報基盤整備

区民への情報提供を中心に



# ●東日本大震災の教訓

関係機関との情報連絡

電話の通信制限

- ・インターネットの活用
- ・衛星携帯 など

情報収集・整理

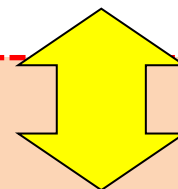
ホワイトボード  
(コピー機能付き)

- ・総合防災システム  
(映像・GIS等を活用)

情報発信の難しさ

業務量の集中・  
多様な手段の操作

- ・伝達制御システム  
(多様な伝達手段の活用)



連携

# ●東日本大震災を踏まえた情報伝達の強化

東日本大震災当日

防災行政無線(固定系)

屋外拡声器

戸別受信機

防災行政無線(移動系)

安全・安心メール(登録制)

携帯電話

区ホームページ

パソコン等

伝達手段の数だけ  
操作が必要

防災・広報担当への  
事務量の集中

殺到した  
電話問合せ

帰宅困難者等  
の現場対応

複数の情報伝達手段を使いこなせなかった

「総合的な震災対策の推進に向けた基本方針」

対策

- ① 伝達制御システムの導入による伝達業務の統合化・効率化
- ② 災害対策本部の態勢見直し(情報伝達要員の確保)
- ③ 情報連絡・伝達訓練の充実、強化(ハード・ソフト両面)